

平成30年7月13日(金) 12969号



## 株式会社 日刊金属

本 社 〒530-0043  
 大阪市北区天満2丁目12番3号  
 ヴィレッジリバー南森町 3階E号  
 TEL (06) 6353-7831 (代表)  
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001  
 東京都品川区北品川1丁目9番7号  
 トップレーム品川1015  
 TEL (03) 6869-9983 (代表)  
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp  
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ12ヵ月 84,000円(税別)  
 6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

### 非鉄金属スクラップ輸出

#### 5月貿易統計

## 銅は31.0%の大幅増

財務省が発表した2018年5月の貿易統計によると、非鉄金属スクラップの輸出数量で銅スクラップは前年同月比31.0%増加した。銅スクラップ輸出数量は、今年に入り2桁減の状況が続いていたが、5月は大幅に増加した。

銅スクラップの5月の輸出数量は2万9,655トン。最大の輸出先である中国向けがこれまでの減少基調から8.4%の増加に転じた。輸入ライセンス規制の厳格化が影響し、同国への駆け込み需要が発生しているとみられる。

アルミ缶スクラップは6,802トンで、前年同月比19.3%増加。輸出先の大部分を占める韓国でのスク

ラップ需要の伸びを反映した。一方、その他アルミニウムスクラップは11.6%減の6,874トンだった。鉛スクラップは4月に引き続きプラスとなり、18.7%増の148トンだった。

ステンレススクラップは、前年同月比13.3%増の1万4,272トンだった。

キログラム当たりの輸出単価は上昇基調が継続。銅スクラップは332.8円で、前年同月から66.1円高。アルミ缶スクラップは160.2円で同8.5円上昇。その他アルミニウムスクラップは前年比で39.4円高い162.9円。鉛スクラップは228.1円で、上昇幅は26.5円となった。ステンレススクラップのキロ当たり輸出単価は120.6円で、13.2円上昇した。

### 日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

18年5月スクラップ輸出統計

品目	輸出数量(トン)	キロ当たり単価(円)
銅	29,655	332.8
	31.0	66.1
アルミニウム缶	6,802	160.2
	19.3	8.5
その他アルミニウム	6,874	162.9
	▲11.6	39.4
鉛	148	228.1
	18.7	26.5
ステンレス	14,272	120.6
	13.3	13.2

下段は前年同月比(%)

下段は前年同月比(円)

▲はマイナス

社会の発展とその未来に  
テクノロジーで対応する

# KYOWA

地球にも、人にもやさしい KYOWA のエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>



協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO., LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番

TEL (0729) 91-0818 (代) FAX (0729) 91-4470

### 日刊金属

購読料 12ヵ月 72,000円(税別)  
 6ヵ月 36,000円(税別)

外電配信料 12ヵ月 84,000円(税別)  
 6ヵ月 42,000円(税別)

物質・材料研究機構

世界最小の熱伝導率

無機複合薄膜材料を開発

国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS) は、マテリアルズ・インフォマティクス (MI) を活用し、世界最小の熱伝導率を有する無機複合薄膜材料の開発にこのほど成功した。

MIは、データ解析などの情報科学を通じて新材料や代替物質を効率的に探索・開発する手法。予測された材料を実験で合成し、短期間で高性能な新規断熱材料の発見につなげた。

NIMSの研究チームは、アンサンブル回帰木と呼ばれる機械学習手法を使い、2000種以上の材料の組み合わせから、熱伝導率が低くなるとみられる組み合わせを予測。また、構造を変えながら複数の薄膜を全自動で作製できるNIMSが独自に

開発した装置を利用し、予測された材料の組み合わせのナノ構造を変化させて熱伝導率との相関を網羅的に探索した。その結果、アモルファスシリコン中にビスマスの微結晶を散りばめた構造が最高の断熱特性を有し、無機複合薄膜材料では世界最小の熱伝導率(熱伝導率0.16 W/mK)を示す結果を得た。

NIMSは、MIを活用することで、効率的に新規機能性材料の探索や既存材料の高性能化を行うことを実証し、MIの有効性を証明した先駆的な事例と説明。今後、断熱材料のさらなる高性能化をはじめとして、エネルギーに関連する様々な材料開発分野への応用を目指すとしている。

タンタル・ニオブ事業強化

J X金属

独社の全株式取得を完了

J X金属(大井滋社長)は、タンタル・ニオブ製品(高純度金属粉)の製造・販売・開発事業を行うドイツの「H.C.Starck Tantalum and Niobium GmbH (HCS TaNb)」の全株式の取得を完了したと発表した。J X金属は、当社と国際協力銀行の共同出資による特別目的会社「JX Metals Deutschland GmbH(JXMD)」を通じて株式の取得を進めていた。

モノのインターネット (IoT) 社会の到来を視野に入れ、同社は2017年度から19年度の中期経営計画で

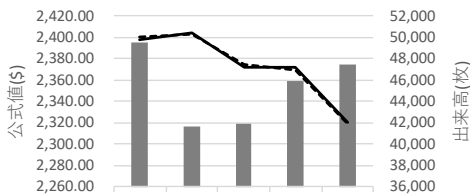
「技術立脚型事業群としての電材加工事業の育成・強化」を積極的に進めており、その一環としてHCS TaNbの株式を取得した。今後、HCS TaNbとの協業を進め、グループの技術や知見、ネットワークなどあらゆる経営資源を有機的に活用する方針。

同社は、組織改正を行い、新たに「技術本部タンタル・ニオブ事業部」を設置した。JXMDを通じてHCS TaNbの経営全般をモニタリングする。同社は、新部署の設置でHCS TaNbとのシナジーの早期実現を図る。

LME公式値週間推移

7月2日~7月6日(現地)

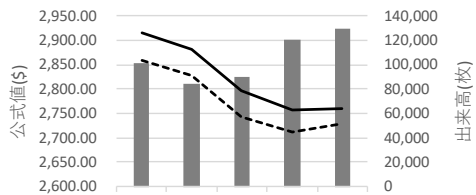
LME鉛



LME鉛の週間推移データ表

出来高 直物 先物

LME亜鉛SHG



LME亜鉛SHGの週間推移データ表

出来高 直物 先物



**チリ：Lithium Chile社、Prosper One International Holdings社、リチウム-カリウム探鉱プロジェクト、ジョイントベンチャー形成で覚書を締結**

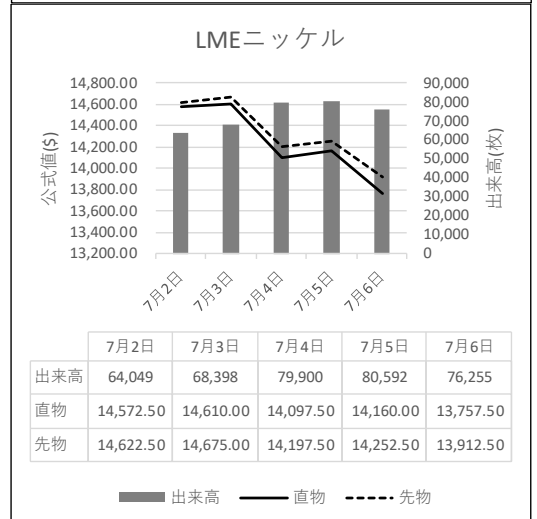
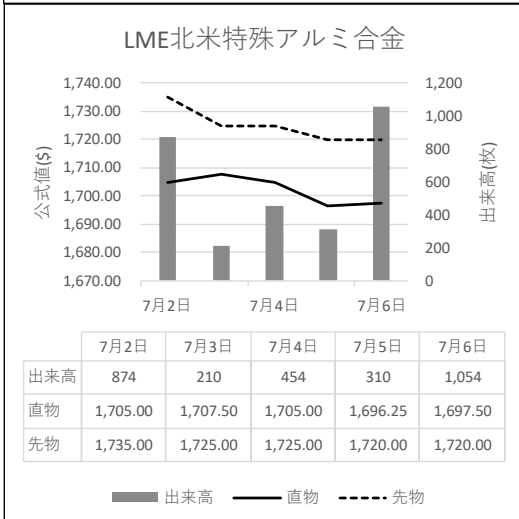
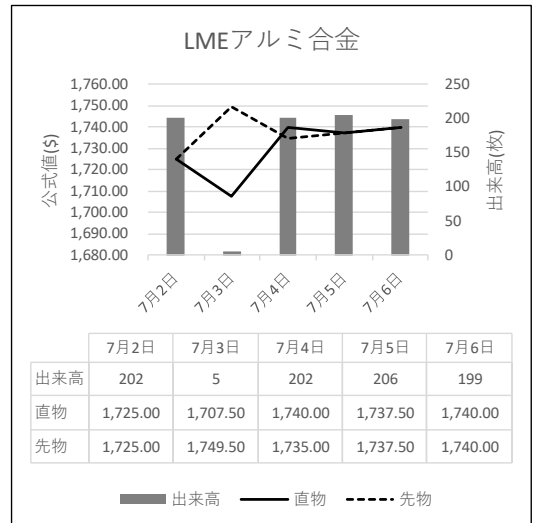
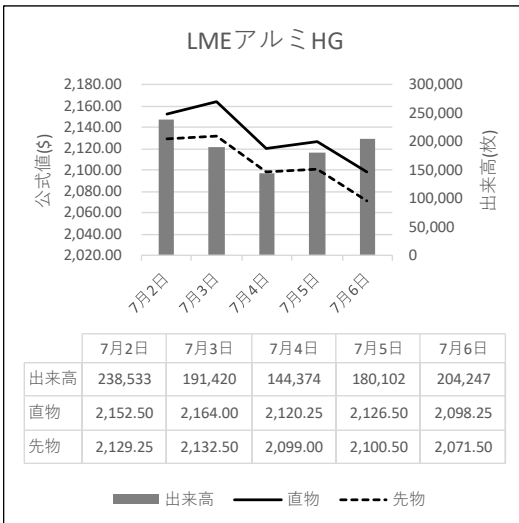
2018年6月14日付けメディア報道によると、Lithium Chile社（探鉱ジュニア、本社：カナダ AB州 カルガリー）およびProsper One International Holdings社（富一國際控股有限公司、本社：中国 香港）は、Lithium Chile社がチリTarapacá州Pintados塩湖北部に所有するPintadas Norteリチウム-カリウム探鉱プロジェクトについて、ジョイントベンチャーを形成する覚書を締結した。

契約内容として、Prosper One International Holdings社は探鉱費最大3mC\$の支出および1mC\$相当のLithium Chile社株式購入（最低株価1.00C\$/株式、購入株式の半数は2年以内に1.50C\$/株式で買い戻し可能なワラント）により、Pintadas Norteプロジェクトに

関するジョイントベンチャーの権益55%を得ることになっている。さらにProsper One International Holdings社は、同プロジェクトのF/S完了時に追加権益最大20%を取得するオプションを有している。

一方、Lithium Chile社はPintadas Norteプロジェクトのオペレーターとなり、探鉱費用の17.5%相当のオペレーターフィーを得ることになっており、さらにジョイントベンチャーが設立されない場合はProsper One International Holdings社から250,000C\$の賠償金が同社に支払われる。

Lithium Chile社は、チリにおける鉱業権、特にアタカマ塩湖での鉱業権取得を目指して2006年に鉱区の買収を開始しており、現在、チリ国内にある13の塩湖で鉱業権を保有する（鉱区総面積約148,000ha）。Pintadas塩湖では2017年後半に68,100haの鉱区を取得（当時、Kairos Capital社）。同鉱区内で農業用水確保のため実施されたボーリングによると、地下水中に500～700ppmのリチウム含有が確認されている。





## 銅建値2万円引き下げの73万円

### 7月の月内建値平均は74万1,900円

J X金属は12日、電気銅建値を2万円引き下げの73万円と発表し同日から実施した。7月の月内建値平均は74万1,900円。

12日入電のLME銅相場のセツルメントが6,182.00ドル、同日の東京市場の米ドルTTSレートは113.18円。この値で換算した採算価格は、69万9,600円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万400円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

#### 2018年

□ 2月	810(1) 820(6) 790(8) 800(15)	平均801.5
□ 3月	780(1) 760(9) 780(14) 770(19) 750(23) 740(28)	平均765.7
□ 4月	760(2) 770(6) 790(11) 770(13) 790(19) 800(25)	平均778.5
□ 5月	790(7) 800(14) 810(23) 790(29)	平均797.8
□ 6月	780(1) 810(5) 840(7) 810(19) 790(23)	平均811.5
□ 7月	780(2) 750(5) 730(12)	平均741.9



#### 黄銅削粉は17円 引き下げの537円

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は12日、黄銅削粉の買値17円引き下げの537円にすると発表した。この月3回目の改定。

## 故銅市況



12日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前日の6,308.00ドルより126.00ドル安の6,182.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,314.50ドルより236.50ドル安の6,078.50ドル。カーブ取引は前日の6,332.00ドル～6,332.50ドルより187.00ドル安の6,145.00ドル～6,145.50ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(7月限)は、前日の282.85セントより9.50セント安の273.35セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(7月限)は、前日の4万9,570元より1,580元安の4万7,990元。

12日の東京為替市場TTSレートは、前日の111.93円より1.25円の円安ドル高の1ドル=113.18円。NYカーブLME先物比は12.50ドル安。12日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,182.00ドル。この値と12日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の74万6,000円より7,000円安の73万9,000円。この日、電気銅建値は73万円に引き下げられた。

#### 為替動向

11日から12日午前の外国為替市場で円相場は1ドル=111円から112円台に入っている取引となった。

11日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は、前日の同時刻から横ばいの1ドル=111.20円～111.30円だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比1.00円の円安・ドル高、1ドル=111.95円～112.05円で取引を終了した。

米中貿易摩擦激化への警戒感が市場を覆う中、資金がドルに流れる動きが出た。一時的な円高・ドル安に対する持ち高調整の円売り・ドル買いも入り、円相場は下押し圧力が強まった。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは110.97円～112.17円だった。

12日の東京外国為替市場、午前9時の気配値は、1ドル=111.96円～111.99円、前日の17時時点に比べ0.96円の円安・ドル高。

銅・非鉄金属地金全般

## 株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

ニューヨーク市場でドル買い資金が膨らんだことを受け、朝方の東京市場でも円売り・ドル買いが先行した。東京株式市場で日経平均株価が上昇したことによるリスク選好や、輸入企業のドル需要もあり、円相場は112円台に下落した。

#### 故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が595～600、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは576～581、並銅は515～520、込銅(高品位=約97%)は475、セバは462～467。コーベルは要り用筋で453、それ以外は445ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋448、それ以外431～456どころの値頃。並青銅鋳物削粉は447～452どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が598～603、上銅新くずが565～585、普通上銅が532～542、2号銅線が538～548、並銅が503～504、込銅(90-93%)が462～429、下銅が322～372、セバが429～439、コーベルが385～425、黄銅棒地が441～446、黄銅削粉が389～436、黄銅ラジが340～348、交叉ラジが325～336、黄銅銅鋳物が362～369、送りが225～240、上青銅鋳物が457～473、並青銅鋳物が449～462、上青銅鋳物削粉が454～473、並青銅鋳物削粉が447～451どころ。



**LME銅は公式値で120ドル超およそ2%の続落、約1年ぶりの安値**  
**カーブ取引も180ドル超の続落 COMEX銅相場も続落 SHFE相場は1,500元超の下落**  
**LME非鉄相場主要品目は全面安**  
**亜鉛はおよそ3%の安値 錫、ニッケル、鉛現物はおよそ2%の安値**

12日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,307.50ドルより126.50ドル安の6,181.00ドル。3か月物も、前日の6,314.00ドルより120.00ドル安の6,194.00ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の27万1,000トンより約5,000トン減のおよそ26万5,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（7月限）は、前日の282.85セントより9.50セント安の273.35セント。カーブ取引は、前日の6,332.00ドル～6,332.50ドルより187.00ドル安の6,145.00ドル～6,145.50ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（7月限）は、前日の4万9,570元より1,580元安の4万7,990元。

**錫は約2%の反落**

LME錫相場の直物は、前日の1万9,825.00ドルより382.50ドル安の1万9,442.50ドル。3か月物も、前日の1万9,792.50ドルより490.00ドル安の1万9,302.50ドル。

**鉛は約2%の続落 およそ1年ぶりの安値**

LME鉛相場の直物は、前日の2,282.50ドルより39.00ドル安の2,243.50ドル。3か月物も、前日の2,288.00ドルより30.00ドル安の2,258.00ドル。

**亜鉛は約3%の続落 およそ1年ぶりの安値**

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,657.00ドルより83.50ドル安の2,573.50ドル。3か月物も、前日

**アルミ二次合金メーカー買値実勢値**

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

**関東地区(7月前半)**

2S=203円～211円、63S=200円～204円、アルミホイール(1P)=195円～200円、ビス付サッシ=149円～153円、エンジンコロ=155円～157円、込合金(機械鋳物)=151円～153円、缶プレス(ソフト)=118円～133円。

**関西地区(7月前半)**

2S=198円～206円、63S=196円～200円、52S=208円～212円、印刷版=201円～206円、アルミホイール(1P)=184円～189円、ベースメタル=208円～213円、機械鋳物=155円～160円、ダライ粉=127円～132円、ビス付サッシ=150円～155円、缶プレス=136円～141円。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売  
 亜鉛ドロス・滓買入

**大阪亜鉛工業株式会社**

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3  
 電話 06-6471-2531～5  
 FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5  
 電話 03-3618-2351～2

の2,641.50ドルより89.00ドル安の2,552.50ドル。  
**アルミは反落 アルミ合金は横ばい 北米特殊アルミ合金は反発**

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,140.25ドルより20.00ドル安の2,120.25ドル。3か月物も、前日の2,109.25ドルより30.75ドル安の2,078.50ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、横ばいの1,765.00ドル。3か月物も、横ばいの1,765.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,685.50ドルより20.50ドル高の1,706.00ドル。3か月物も、前日の1,715.00ドルより10.00ドル高の1,725.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ111万7,000トンより約4,000トン増のおよそ112万1,000トン。

**ニッケルは約2%の下落**

LMEニッケル相場の直物は、前日の13,957.50ドルより332.50ドル安の13,625.00ドル。3か月物も、前日の14,067.50ドルより337.50ドル安の13,730.00ドル。

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



LME公式値（単位：ドル）／7月11日（現地）

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,181.00	19,442.50	2,243.50	2,573.50	2,120.25	1,765.00	1,706.00	13,625.00
	前営業日比	▲ 126.50	▲ 382.50	▲ 39.00	▲ 83.50	▲ 20.00	0.00	20.50	▲ 332.50
先物	公式値	6,194.00	19,302.50	2,258.00	2,552.50	2,078.50	1,765.00	1,725.00	13,730.00
	前営業日比	▲ 120.00	▲ 490.00	▲ 30.00	▲ 89.00	▲ 30.75	0.00	10.00	▲ 337.50

海外非鉄金属相場

(7月12日 入電・現地 7月11日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅A G, 錫H G, 鉛, 亜鉛S H G, アルミH G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

NYコメックス相場

出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table showing NY Comex prices for Copper, Gold, Silver, Platinum, and Palladium across various time periods (7月限 to 11月限).

採算価格

フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートにて換算)

Table for procurement prices (採算価格) comparing LME and COMEX prices for various metals (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル) in different currencies.

フリー・マーケット

米国内産者価格

Table for US domestic producer prices for Copper and Silver.

NY相場

Table for NY market prices for Copper and #2 Copper Wire.

ロンドン相場(ドル)

Table for London market prices for various metals like Gold, Antimony, Bismuth, Cadmium, Indium, Selenium, etc.

KLTM錫(Mドル/キロ、出来高トン)

Table for KLTM Tin prices showing exchange rates and market prices for different periods.

LME在庫(トン)

Table for LME inventory levels for various metals (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, etc.).

コメックス銅在庫(トン)

Table for Comex Copper inventory levels for July and August.

NYカーブ

Table for NY Copper curve prices for different months.

上海相場

Table for Shanghai market prices for Copper, Aluminum, Lead, and Tin.

**非鉄金属製品相場**

(7月12日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品			鉛亜鉛製品		
	大阪	東京		大阪	東京
銅小板2.0ミリ	◆ 950	◆ 980	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	◆ 960	◆ 990	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	◆ 1120	◆ 1180	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	◆ 1140	◆ 1160	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	◆ 820	◆ 840	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	◆ 930	◆ 970	軽圧品(仲値)		
銅糸1.5×100	◆ 940	◆ 960	アルミ箔0.007ミリ	945	1005
銅線0.9ミリ	◆ 1010	◆ 1040	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	◆ 930	◆ 980	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	◆ 1210	◆ 1200	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	◆ 810	◆ 830	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	◆ 830	◆ 830	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	◆ 980	◆ 1030	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	◆ 1360	◆ 1300	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	◆ 1355	◆ 1355	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	◆ 680	◆ 680	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	◆ 720	◆ 710	貴金属(一般小口向け)		
四角棒	◆ 750	◆ 740	白金(グラム)	◆ 3324	
鍛造用	◆ 730	◆ 720	パラジウム(グラム)	◎ 3753	
ネーパル	◆ 820	◆ 820	金(グラム)	◎ 4881	
高力	◆ 820	◆ 820	銀(キログラム)	◆ 64470	
黄銅線6ミリ	◆ 1005	◆ 1035	合金鉄		
黄銅平角線ロール仕上	◆ 1210	◆ 1250			5月輸入単価(CIF)
黄銅糸1.5×100	◆ 795	◆ 825	レアメタル輸入価格		
リン青銅板一般用1.0ミリ	1980	1960		5月通関(CIF)	
〃 バネ用0.3ミリ	2200	2170	金属ケイ素(99.99%未満)	256	
リン青銅棒25ミリ	2240	2250	モリブデン酸化物	2193	
リン青銅線3ミリ	2420	2400	タンタル	35353	
洋白板一般用1.0ミリ	2860	2810	マグネシウム	260	
〃 バネ用1.0ミリ	3030	2990	コバルト	9650	
			インジウム	34604	
減摩合金			銅合金地金		
	7月2日改定			7月2日発表	
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪	東京
1種	2770		BC 1種	855	—
2種	2695		2種	1030	—
3種	2620		3種	1075	—
4種	2315		6種	915	—
5種	2240		7種	950	—
7種	925		YBSC 3種	770	—
8種	835		LBC 3種	1035	—
9種	755		PBC 2種	1095	—

合金鉄	5月輸入単価(CIF)
フェロマンガ2%以上炭素含有	147
〃 その他	176.9
フェロシリコン55%以上	160
フェロクロム4%以上炭素含有	161.7
フェロモリブデン純分60%以上	2124
フェロバナジウム	5676
フェロニッケル33%未満	432.7
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

